

盛岡赤十字病院 台風10号に伴う救護活動報告

盛岡赤十字病院
医療社会事業部



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

災害概要（気象庁発表）



- 大型で強い台風第10号は、8月30日18時前に岩手県大船渡市付近に上陸した後、東北地方を通過し日本海で温帯低気圧に変わった
- 台風第10号の影響で岩手県宮古市、久慈市で1時間に80ミリの猛烈な雨となったほか、北海道上士幌町で平年の8月一ヶ月に降る雨量を超える329ミリを観測し記録的な大雨となった。また、最大瞬間風速が岩手県宮古市で37.7メートル、北海道せたな町で36.5メートルなど東日本から北日本では暴風となり、海は猛烈なしけとなったところがあった

病院

8/31 (水)

9:45 岩手県災害対策本部より救護班派遣指示
院内災害対策本部設営

盛岡赤十字病院救護班（第1班）派遣・メンバー決定

医師 船山（脳神経外科）

看護師 藤根、高柳（日本DMAT）

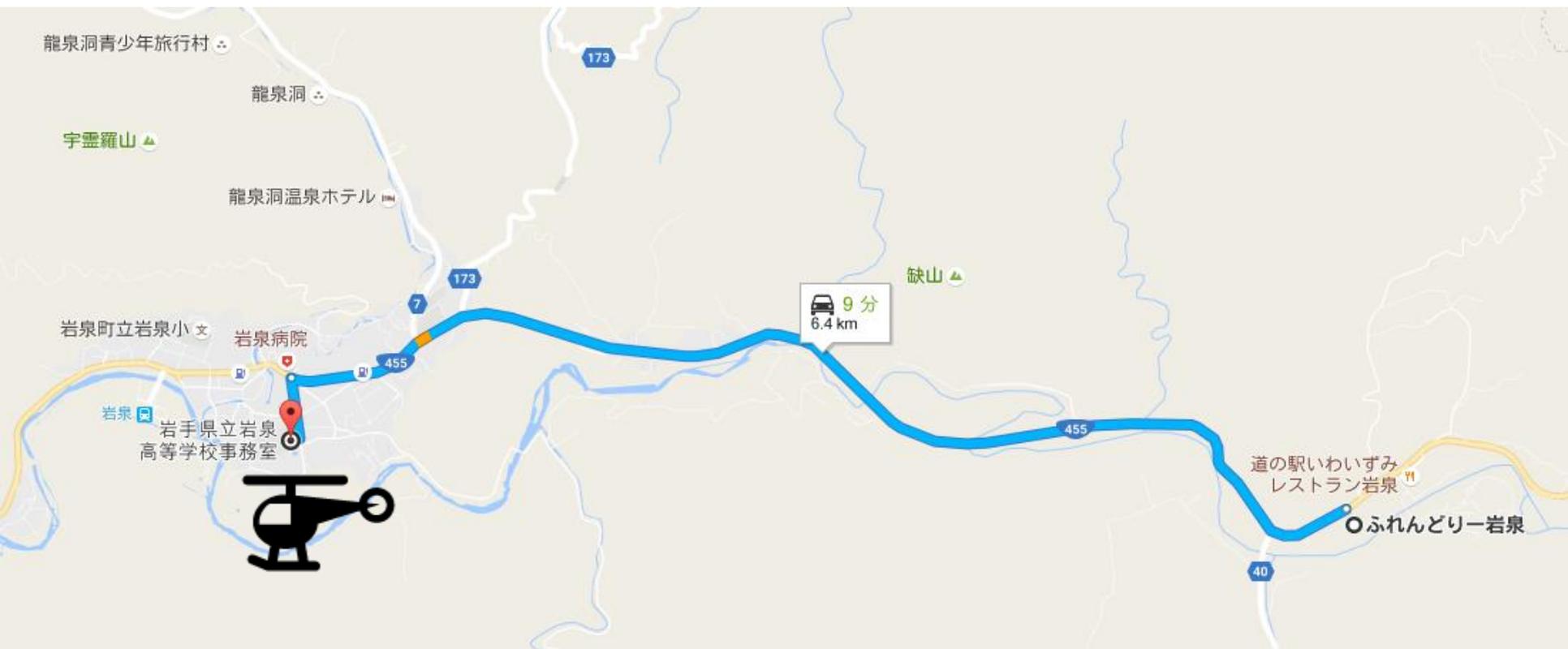
薬剤師 梅村

調整員 戸田（日本DMAT）、石橋（日本DMAT） 計6名



救護班

県災害対策本部からの指示



Map data ©2016 Google, ZENRIN

◆岩泉町で孤立した施設（介護老人保健施設ふれんどりー岩泉）
周辺の患者を岩泉高校へ集め、空路で盛岡市へ搬送

救護班

県災害対策本部からの指示



◆当院は岩手県消防学校にて
**午前11時までに搬送拠点
(SCU※) 設置の指示を受ける。**

※SCU

Staging Care Unit - 広域搬送拠点臨時医療施設

**派遣指示から約
1時間での設置**

病院

盛岡赤十字病院院内対応

◆ 9 : 45 ~

SCUから運ばれてくる患者の受入体制を整える



救護班

救護班出動

◆ 10 : 30 ~ 病院出発



救護班

救護班到着

- ◆ 10 : 45 岩手県消防学校（矢巾町）到着
- 10 : 55 SCU設営完了



救護班

救護班活動開始

◆ 11 : 30

県災害対策本部より 80～100名の搬送予定との情報
消防学校近辺の高齢者施設又は盛岡市内の病院へ振り分け
県福祉チームと共同で活動。

救護班は患者トリアージ※を行い、
搬送先を施設にするか病院にするか決定。

施設の場合は県福祉チームが搬送調整、
病院の場合は救護班が搬送調整を行う。

※大事故・災害などで同時に多数の患者が出た時に、手当ての緊急度に従って優先順をつけること

救護班

救護班活動

◆ 13 : 00 ~

岩泉からの患者輸送へリ発着開始

以後20~30分間隔で次々とへりが到着

13 : 30 救護班人員不足のため病院へ応援要請



救護班

救護班活動

◆14:15 応援班2班（12名）到着

医師 野田、丹治、津嘉山

看護師 伊藤(幸)（日本DMAT）、亀岡、立花

調整員 赤平、松橋、及川、小笠原、畠山、阿部



救護班

救護班活動

- ◆以後、日没（19時頃）までひたすらトリアージして搬送
受入患者数 計88名（内15名を赤十字病院へ）



病院

盛岡赤十字病院院内対応

◆ 13 : 00 ~

SCUから運ばれてくる患者のトリアージ及び病棟収容



病院

19 : 35 岩手県災害対策本部より9月1日（木）の
救護班派遣指示

盛岡赤十字病院救護班（第4班）

派遣・メンバー決定 合計8名

医師 久保（日本DMAT）、杉村（外科）

看護師 高柳（日本DMAT）、伊藤（嘉）、下屋敷（日本DMAT）

調整員 沼田、佐々木（康）（日本DMAT）、小館

救護班

救護班出動

9/1(木)

- 6 : 00 ~ 岩手県消防学校（矢巾町）に向け病院を出発
- 6 : 50 ~ 岩手県庁職員、岩手医大DMAT、
県立胆沢病院DMATと共に岩手県消防学校
SCUにて活動
- 10 : 38 ~ 岩手県消防学校SCUで防災ヘリ・自衛隊
ヘリの受け入れ、救急車両による病院への搬
送を開始
- 20 : 20 全ヘリ搬送患者43名の搬送終了
(内8名を赤十字病院へ)

救護班

岩手県消防学校に設営されたSCU内の様子



救護班

盛岡消防本部の隊員と共に
防災ヘリを受け入れ



救護班

SCUから病院への搬送は救急車両の他、盛岡消防本部のマイクロバスによって行われた



救護班



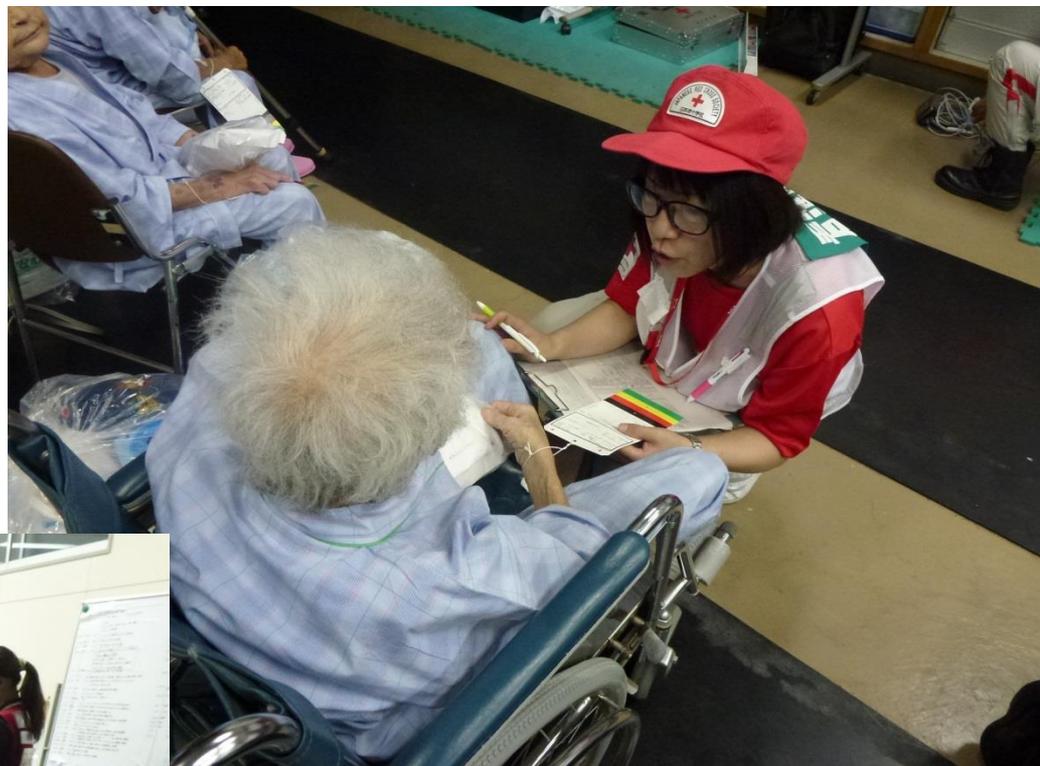
18 : 06

岩泉町から19名を載せた自衛隊機が到着

診療スペースまでは救急車両、車椅子で患者搬送が行われた

救護班

岩泉町から19名を載せた自衛隊
機が到着後の診療スペース
看護師がトリアージを行う



病院

盛岡赤十字病院院内対応

SCUから運ばれてくる患者のトリアージ及び病棟収容



病院

17 : 00 岩手県災害対策本部より9月2日（金）の
救護班派遣指示

盛岡赤十字病院救護班

派遣・メンバー決定 合計2名

調整員 赤平、高橋（今）

※岩手県消防学校SCUの資機材が赤十字の物資のため、
資機材管理及び病院との連絡調整のため派遣となる。

救護班

救護班出動

9/2(金)

- 6 : 00 ~ 岩手県消防学校（矢巾町）に向け病院を出発
- 6 : 50 ~ 岩手県庁職員、岩手医大DMAT、
県立病院DMAT、他県DMATと共に岩手県
消防学校SCUにて活動開始。
資機材の調整及び赤十字病院との連絡調整。
- 15 : 03 全患者の搬送終了（内2名を赤十字病院へ）
- 15 : 26 岩手県消防学校SCU日没撤退を受け、
撤収班(3名)を派遣。
- 18 : 00 撤収完了。帰院。

救護班

岩手県消防学校に設営されたSCU内の様子及び資機材管理活動



他県DMATや赤十字の支援をいただいております。



病院

盛岡赤十字病院院内対応

SCUから運ばれてくる患者のトリアージ及び病棟収容



病院

18:00 岩手県災害対策本部より明日以降の対応連絡
避難所の医療ニーズのアセスメントに移行

9/3(土)

岩手医大DMATが岩泉町で活動

9/4(日)

釜石病院DMATが岩泉町で活動

9/5(月)

中部病院DMATが岩泉町で活動

今後の活動は医療ニーズを踏まえ、県で調整中

盛岡赤十字病院救護班は、台風10号の被害対応にこころのケア活動等を視野に入れて継続活動しております。



3.11
2011 JAPAN

私たちは、忘れない。
Forever remembered.

Do our best.

想いを活かす、チカラになる。

災害救護のスペシャリストとして、
様々な活動で培った技術と経験。

東日本大震災で
日本中、世界中から寄せられた多くの想い。
そして、被災された方々から受け取った多くの言葉。

その全てを活かして、
復興へと歩む人々のチカラになりたい。

そのために私たちは、
ベストを尽くすことを約束します。

あの日から五年経った今だからこそ、
私たちはあえてここに宣言します。

日本赤十字社岩手県支部
盛岡赤十字病院 救護班